

映像情報メディア学会技術報告目次

〔放送技術〕

番組制作技術・送出技術、および一般

6月10日(金)

- BCT2016-45 従来色域コンテンツのBT. 2020色域への拡張  
----- 山田邦男(JVCケンウッド)--- 1
- BCT2016-46 4K・8K番組制作におけるフレーム周波数120Hz対応タイムコードの伝送方式  
----- 添野拓司・白井規之・小出大一・山下誉行(NHK)--- 5
- 《オーガナイズドセッション HDR最前線 ～放送方式と番組制作～》
- BCT2016-47 HDR放送の実現に向けた技術基準の策定  
----- 五十嵐大和(総務省)--- 9
- BCT2016-48 4K/HDR普及に向けたソニーの取り組みのご紹介  
---- 林 亮輔・岡野 正(ソニー), 庄野雄紀(ソニービジネスソリューション)--- 13
- BCT2016-49 HDR映像による番組制作検証  
----- 甲斐 創(日本テレビ)--- 17
- BCT2016-50 8KHDRで映像制作をやってみた! ～ 現実世界に限りなく近い映像の再現を目指して ～  
----- 金村達宣(アストロデザイン)--- 21
- BCT2016-51 HDRによるライブ制作と衛星による伝送の検討  
～ Hybrid Log GammaでのHDR映像の検討 ～  
----- 今井 豊(スカパーJSAT)--- 25
- BCT2016-52 放送現場におけるHDR制作 ～ 4K、8Kコンテンツ制作を通して ～  
----- 宮坂裕司・市川健一郎(NHK)--- 29

共催 IEEE Broadcast Technology Society Japan Chapter (IEEE-BT)